
2013年度決算実績概要(対当初計画)

ポイント 減収増益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

売上高	▲39	:	-	都市ガス売上減	(▲146:販売量減▲55、料金改定▲62等)
			+	器具工事売上増	(+127:TES、GHP販売台数増、受注工事件数増)
営業費用	+90	:	+	都市ガス営業費用減	(+83:都市ガス原材料費減+22、固定費減等)
			-	電力費用増	(▲52:原料費増)
営業利益	+50	:	-	都市ガス利益減	(▲63:ガス粗利▲128(うち気温影響▲43、料金改定▲62)、固定費減等+65)
			+	器具工事利益増	(+41:TES、GHP販売台数増、受注工事件数増)
			+	電力利益増	(+43:販売単価増)

(単位: 億円)

	2013年度	当初計画	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,735	14,781	▲46	▲0.3%
売上高	21,121	21,160	▲39	▲0.2%
営業費用	19,460	19,550	▲90	▲0.5%
営業利益	1,660	1,610	+50	+3.1%
経常利益…①	1,596	1,550	+46	+3.0%
当期純利益	1,084	1,010	+74	+7.4%
気温影響…②	▲25	18	▲43	—
スライドタイムラグ…③	164	209	▲45	—
年金数理差異償却額…④	▲22	▲22	0	—
補正経常利益①-(②+③+④)	1,479	1,345	+134*	+10.0%
補正当期純利益	1,007	874	+133	+15.2%

※+134:ガス販売量+7(気温影響▲43控除後)、電力+43、器具・工事+41、その他のセグメント利益等43

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産(億円)
13年度	100.17	109.99	17.0	12年度	6.10%	1.4%	2,760
当初計画	100.00(+0.17)	110.00(▲0.01)	16.6(+0.4)	期待運用収益率:2%			

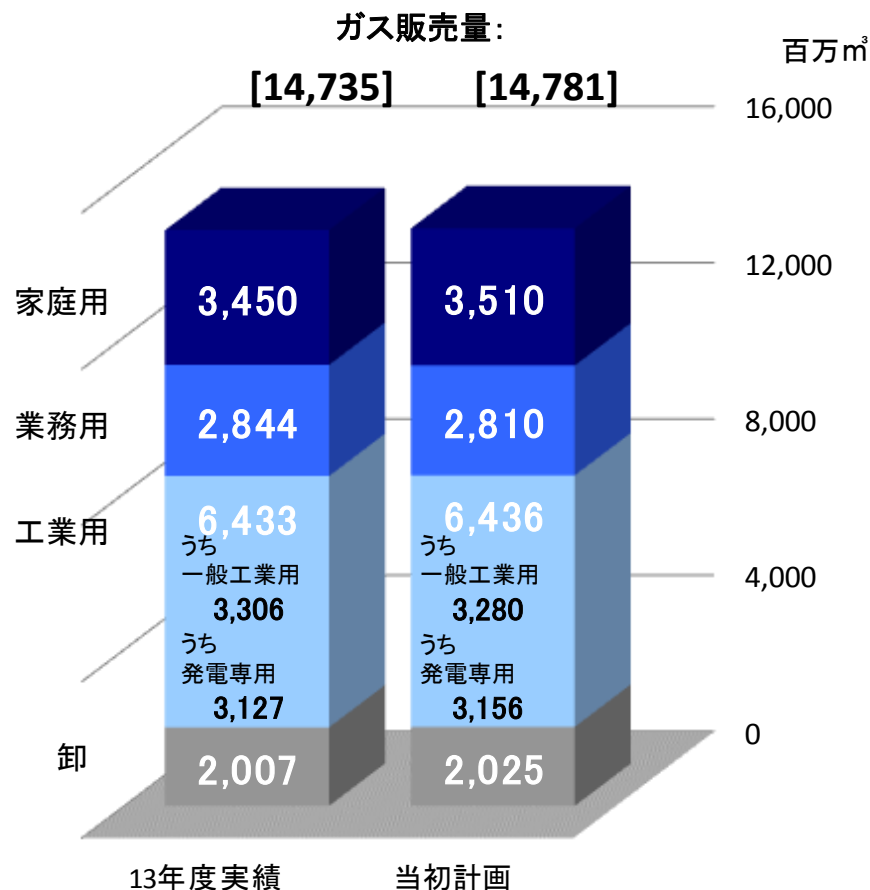
連結ガス販売量実績

当初計画→今年度実績

▲46百万m³ (▲0.3%)の減少

[うち気温影響▲53百万m³▲0.4%の減少]

■ 家庭用 ▲60百万m ³ (▲1.7%)	
● 気温要因	▲68百万m ³
● 日数影響	▲3百万m ³
● お客さま件数	+ 4百万m ³
● その他	+ 8百万m ³
■ 業務用 +34百万m ³ (+1.2%)	
● 気温要因	+20百万m ³
● 日数影響	+ 1百万m ³
● お客さま件数	▲10百万m ³
● その他	+23百万m ³
■ 工業用 ▲3百万m ³ (▲0.0%)	
● 一般工業用:	+26百万m ³
● 発電専用:	▲29百万m ³
■ 卸 ▲18百万m ³ (▲0.9%)	
● 気温要因	▲ 5百万m ³
● その他	▲ 13百万m ³
卸供給事業者需要減等	



お客さま件数(万件)

2013年度実績	当初計画	増減
1,111.1	1,110.2	+0.9(+0.1%)

	2013年度	当初計画	増減
LNG液販売量(千t)	784	795	▲11
平均気温(℃)	17.0	16.6	+0.4

実績

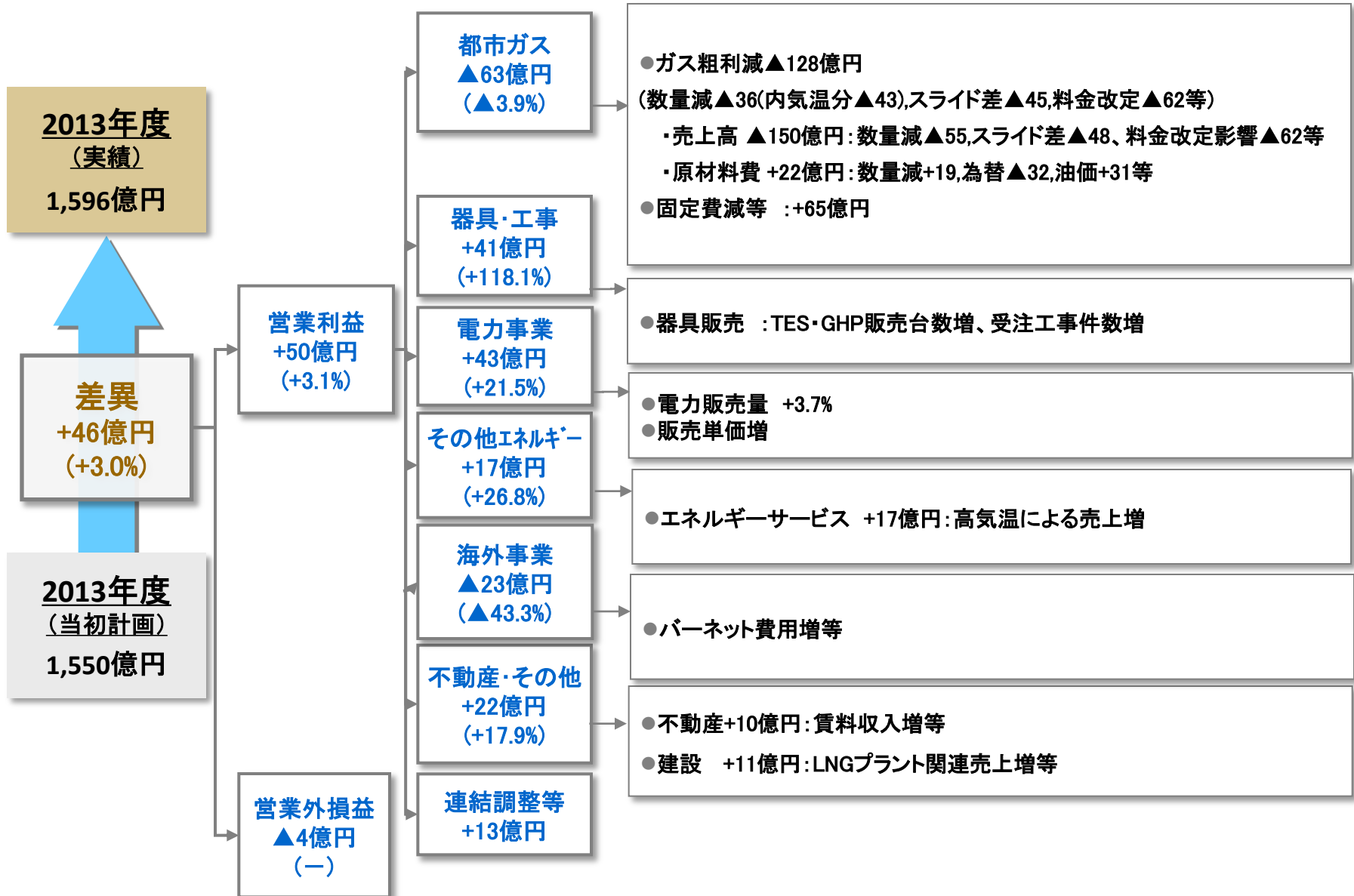
■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

	13年度 実績	当初計画	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	14,735	14,781	▲46 ▲0.3%
トーリングによる ガス使用量	1,510	1,492	+18 +1.2%
合計	16,245	16,273	▲28 ▲0.2%

■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	581	2,546	3,127
対当初計画	+24(+4.4%)	▲54(▲2.1%)	▲29(▲0.9%)
一般工業用	184	3,122	3,306
対当初計画	+28(+18.0%)	▲1(▲0.0%)	+27(+0.8%)
合計	765	5,668	6,433
対当初計画	+53(+7.4%)	▲55(▲1.0%)	▲2(▲0.0%)

2013年度実績 経常利益分析 <対当初計画>



※符号は利益の貢献に対して表示



＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531